



とよころ 農協だより

火皇

か が や き

収穫風景2020.....	2	すみれ部会.....	7
エネルギー青年部.....	3	える夢キッズ収穫・調理体験 ...	8
よつ葉乳業製品を寄贈.....	4	新入職員研修.....	9
道知事との試食会に武隈英和さんが出席!! ...	5	農作業中の「ヒットしたエピソード」をご紹介します! ...	10
1日農業バイト「デイワーク」の実態 ...	5	ホクレン アグリポートチャンネル開設 ...	11
女性部の窓.....	6	イキイキ職員.....	12
若き農業青年.....	6	令和3年分農業者年金保険料の「前納納付」... ..	12
生き甲斐部.....	7	編集後記.....	12



令和2年10月

第208号

発行 / 豊頃町農業協同組合

編集 / 営農部 営農振興課

中川郡豊頃町中央若葉町12番地

〒089-5235

TEL 015-574-2101

正組合員戸数 164戸

正組合員数 253人

令和2年10月1日現在

収穫風景2020

各作物の収穫風景を
ご紹介します



2番牧草（幌岡地区）



デントコーン（相澤博美さん）

大型の収穫機により一気に刈ります。デントコーンはキャビンが見えないほど伸びました！



小麦の収穫



各集団での収穫の様子と、
乾燥施設への搬入の様子



瀬原用
馬鈴薯の収穫



馬鈴薯（米田圭一さん）

イモの
選別の様子



馬鈴薯（間所明暁さん）



青年部は、今年度から豊頃小学校4年生16名を対象に食育授業をスタートしました。7月から9月にかけて計3回の授業を行いました。今回はその様子を報告致します。



小学校食育事業がスタート!



1回目の授業 畑の説明のようす



2回目の授業 大根の間引き



枝豆の授業のようす(豊小にて)

第1回(7月14日)では、事前に播種を行った馬鈴薯や人参、枝豆などの成長過程を授業形式で解説しました。また、豊頃町でおなじみの大根の種まき作業を行いました。授業を通して児童からは大根や他の野菜について様々な質問があり、農業への興味、関心の高さが伺えました。

第2回(8月3日)では「防除」をテーマに、農薬の安全性や必要性について解説しました。また、前回種まきした大根の間引きを行いながら、間引きをする理由や大根につく害虫を実際に見ながら勉強しました。

第3回(9月1日予定)は悪天候などで延期が重なった為、急遽9月3日に収穫時期になった枝豆を小学校へ届けに行きました。枝豆の成長についてミニ授業を行い、収穫した枝豆を手渡しました。

最後の収穫は9月8日に行いました。(第3回)

先週までの雨模様は嘘のような快晴で、とても暑い中でしたが馬鈴薯、玉ねぎ、大根を収穫しました。自分たちの手で種をまき、間引きや除草しながら育てた大根を1本ずつ丁寧に収穫しました。少し小ぶりではあったものの、児童たちのとても嬉しそうな、達成感溢れる表情を見ることが出来ました。

また、種をまいてから収穫し加工品になるまで一連の流れを実感してもらうために、大根が切干大根になるまでの説明、そして事前に収穫した大根を切干大根に加工したものを児童に配布しました。



収穫のようす



3回の授業を通して岡崎部長からは「作業中には『虫に葉っぱが食べられちゃってる!』『イモがまだたくさん出てくるよ!けっこう深くまでなってるんだね』などの子ども達の生の声を聞くことが出来た。こういった畑に行かなきゃわからない事を伝えられたことが一番の収穫。スーパーにあるような立派な野菜ではないけれど、種から育てるという経験をさせてあげることが出来た事やそれを楽しいと言ってもらえたことがとても嬉しかったし、やりがいがありました。このような状況の中ご協力いただきました豊頃小学校の皆さん、大変忙しい時期にも関わらず協力してくれた部員に心から感謝しています。次年度以降も継続できるよう引き続きご協力をお願いしたいと思います。」と話して頂きました。

よつ葉乳業製品を寄贈

～町内の保育所、小中学校に～

6月下旬、新型コロナウイルスの影響で消費が落ち込む牛乳の消費を促すため、豊頃小学校（128個）、大津小学校（17個）、豊頃中学校（96個）合せて241個のアイス、そして茂岩保育所（78個）と大津保育所（18個）に合せて96個のヨーグルトを寄贈しました。



豊頃中学校



豊頃小学校



大津小学校



茂岩保育所

保育所では年長さんに、各小学校では児童代表に、中学校では校長先生に松崎専務より受け渡しを行いました。「アイスだ!」「おいしそう」ととても喜んでいただけました様子でした。



大津保育所

豊頃小学校
4年生からお礼のお手紙を
いただきました!

コロナ禍の現状を踏まえ当農協は消費拡大事業の一環として、牛乳・乳製品を広く普及させることを目的に小中学校、保育所、福祉施設等へ牛乳・乳製品を寄贈いたしました。子ども達からたくさんのお礼のお手紙が届き、大変うれしく感無量な気持ちでいっぱいです。これを機に牛乳をたくさん飲んでもらえると幸いです。



畜産部 河尻

道知事との試食会に武隈英和さんが出席!!

全国和牛能力共進会2027北海道開催誘致へ



令和2年8月21日にホテルモントレエーデルホフ札幌で北海道和牛試食会が行われました。本試食会は令和8年(2027年)に開催される第13回全国和牛能力共進会の開催誘致に向け、北海道和牛のアピールを目的に行われました。

試食会に先立って、第13回全国和牛能力共進会北海道誘致推進協議会が開催され、協議会の設立並びに北海道開催誘致が決議されました。協議会会長には北海道知事鈴木直道氏、副会長には北海道酪農畜産協会会長串田雅樹氏、同協会副会長西川寛稔氏の2名が選出されました。今後のスケジュールとして令和2年9月上旬には主催者である全国和牛登録協会へ開催誘致の申請、令和2年11月には全国和牛登録協会理事会にて北海道開催について審議される予定です。

試食会では、若手生産者として十勝和牛育種推進部会長の武隈英和さん(豊頃町)・びらとり和牛育種組合副組合長の佐藤修さん(平取町)と鈴木知事をはじめ、マスコミ各社で佐藤修さんの飼育した黒毛和牛の牛肉を試食、北海道黒毛和牛のアピールをして試食会は終了しました。

1日農業バイト「デイワーク」の実態 ヘビーユーザー 間所明暁氏が語る!!

令和2年9月某日。我々は今巷で話題の1日農業バイト「デイワーク」の実態を明らかにすべくヘビーユーザーである間所明暁氏のもとへ取材に向かった。

その日はちょうど馬鈴薯の収穫作業を行っており、ハーベスタから何やら楽しそうな声が聞こえてきたので、乗り込ませてもらった。すると、明暁氏の妻 千春さんとデイワークの利用者2名が仲睦まじくハーベスタの上で作業をしていたのだ。実際に間所ご夫妻とデイワーク利用者にお話を聞いてみた。

間所ご夫妻「デイワークはとてもいいですよ! 評価も細かく分かれていて応募してくれる人を客観的に判断できるので安心して利用できています。普段の人手だけでは間に合わない時があるので、1日単位で募集できるのはいいですね。」

デイワーク利用者「1日単位で仕事を選べるので都合の合うときに働けるのはすごくありがたいです。自宅から多少遠くても雇ってもらえるのであれば喜んで行きます。デイワークはとてもいいですよ!」

デイワークは色々な農場で経験を積んでいる人も多数おり、即戦力として働ける人材が豊富なことも強みの1つではないだろうか。皆さんもぜひ1日農業バイト「デイワーク」を活用してみてはいかがでしょうか。



1日バイトアプリ デイワーク
daywork

興味を持たれた方は 企画振興係
(☎ 015-574-2101) までご連絡ください!

北海道女性協議会 web会議

女性部の索

8月6日、当農協で北海道女性協議会のweb会議を開催しました。例年、札幌市にて各地区の代表者が会議に参加しますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、各農協でパソコンを使用した会議形式に変更。現在、十勝地区女性協議会にて会長を務めている川口亜矢子さん（同行 十勝地区女性協議会事務局：米地竜基さん）がweb会議に参加しました。



はじめはスムーズに進行しましたが、途中でサーバーが落ちてしまうトラブルが発生しました。再開を試みましたが復旧せず、やむを得ず中断になりました。

会議に参加した川口会長は「以前に一度web会議に参加しましたが、その時より緊張せずに来たと思います。しかし、途中でサーバーが落ちてしまい、やはりこういったトラブルは避けられないですね。遠方に出かけずに済むというメリットはありますが、顔を合わせての会議の良さを実感します。」とお話をいただきました。

~~~~~

## 若き農業青年



旅来地区  
い い だ た く み さん  
**伊井田 拓実**さん

今月号は旅来地区の伊井田拓実さんをご紹介します。

1996年5月16日生まれ（24歳）、事業主は伊井田慎一さん（畑作）です。青年部には就農と同時に加入し、平成31年度より青年部活動に積極的に参加しています。

### 経 歴

帯広農業高校を卒業後、帯広畜産大学の畜産科学課程に進学・修了後に就農。今年で就農して2年目になります。

### 担当している主な作業

トラクター作業（畑おこし、カルチ、一部収穫作業）と除草などの手作業を担当しています。慣れないことが多々ありますが少しずつ慣れるようがんばっています。

### 趣味・休日の過ごし方

体を動かすことが好きなので、学生時代からやっていたスノーボードやスキーはほぼ毎年行ってます。夏はドライブや買い物に行きます。

### 青年部活動について

今年は新型コロナウイルスの影響でイベントは中止になってしまいましたが、昨年の青年部活動では普段見ることができない事や物を研修を通じて学ぶことができ、とても勉強になったので今後も積極的に参加していきたいです。また、先輩部員の方々もとても優しく、農業のお話などを聞くことができ、とても勉強になります。

### 抱 負

今は父の作業を見て学んでいる状況ですが、将来は一人でも管理作業や作物の生育状況の把握など、臨機応変に対応できるよう日々の仕事をこなしていきたいです。まだ分からないことがたくさんありますが一生懸命、頑張りますのでよろしくお願い致します。

## 7月パークゴルフ大会を開催!

生き甲斐部

7月21日、茂岩山パークゴルフ場にて「農協生き甲斐部パークゴルフ大会」を開催しました。大会には13名の部員が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。

当日は、あいにくの曇り空でしたが気温もそれほど上らずプレーするには丁度いいコンディションで、休憩を挟みながら3時間ほどで全4コース、36Hをプレーしました。皆さんの調子は絶好調といった様子で、ホールインワンが2本飛び出し、優勝・準優勝は1点差と混戦かつ高レベルの大会になりました。大会の結果は以下の通りです。

優勝：岡 光 豊 治 さん(十弗地区) スコア104

準優勝：神 谷 秀 秋 さん(十弗地区) スコア105

第3位：影 山 春 一 さん(統内地区) スコア113

第4位：保 科 保 男 さん(二宮地区) スコア113

※同スコアの場合、年齢順

ホールインワン：岡 光 豊 治 さん、神 谷 秀 秋 さん



加藤部長(左)と優勝した岡光豊治さん(右)

8月18日に予定しておりました「生き甲斐部・すみれ部会合同パークゴルフ大会」は、開催直前に十勝管内で新型コロナウイルス感染者が発生したため急遽中止になりました。加藤敏部長からは「昨年度は荒天により懇親会のための開催となり2ヵ年続けての中止は大変残念です。来年度は新型コロナウイルスが終息し、今大会を盛大に開催出来る事を心から願っております。」とコメント頂きました。



9月4日、すみれ部会十弗地区の部員が農協横の花壇を整備しました。今年は干ばつや天気不順からいつも以上に丁寧な整備になり、その甲斐あって6月当初に比べると、マリーゴールドも赤サルビアも一株一株が大きく、たくさんの花と蕾がついていました。

暑すぎず、寒すぎず、過ごしやすい天気ですくすく作業が進みました。皆さん終始和気あいあいとした雰囲気の花壇整備が終了。

農協にお越しの際はぜひご覧ください。



青年部

# える夢キッズ 収穫・調理体験

女性部

8月29日、町内の小学生を対象とした社会教育活動「える夢キッズクラブ（町教委主催）」に午前は農協の圃場にて青年部が収穫体験、午後はえる夢館にて女性部が調理実習に講師として参加しました。

今年は新型コロナウイルスの影響により毎年6月に行っていた播種体験が中止になりましたが、収穫体験は無事に実施することができました。今回は青年部で事前に播種した作物（トマト・トウモロコシ・じゃがいも・にんじん・玉ねぎ・スイカ・枝豆）を部員に教わりながら手作業で収穫しました。

最初に玉ねぎを収穫しましたが、子ども達のあまりの勢いに一瞬で終了しました…。元気がいいですね！次にいも堀りに移りました。大きないもが深くまで埋まっているので、「見て！すごいおっきいよ！」「うわー！すげー！めっちゃ出てくる！」と満足してもらえた様子でした。休憩の時にはトマトを食べてもらい「このトマトすごい甘くておいしい！」などのうれしい声を聞くこともでき、子どもたちからたくさんの元気をもらいました。こどもたちにとっても有意義な時間だったのではないのでしょうか。

午後からは、午前中に収穫した野菜を使って調理体験を行いました。今年の食材は、畑で収穫したトマト、トウモロコシ、じゃがいも、にんじん、玉ねぎ、スイカです。献立はひき肉・トマト・玉ねぎ・にんじんを使った具だくさんの炒め物をクレープ生地で包んだ「おかずクレープ」、「ポテトサラダ」、「ポテトフライ」、「スイカスムージー」の4品です。

じゃがいもの皮むきや、トウモロコシをほぐす、



野菜を炒めるなど様々な工程がありましたが、積極的に参加する子が多く、「じゃがいもの皮きれいに剥けた！」「次は何をやったらいい？」など率先して調理を楽しんでいる様子でした。特にクレープをきれいに包むのは難しかったようですが、コーンをトッピングしたり、ポテトフライを入れたりとそれぞれ自分好みのクレープが完成しました。

料理が完成した後は、みんなでいただきます！オリジナルのおかずクレープはもちろん、冷凍したスイカを使ったスイカスムージーは好評で、おかわりする子も。「ポテトフライほくほくだ！」「冷凍したスイカがシャリシャリしておいしい！」とあっという間に完食しました。

今年は新型コロナウイルスの影響で播種から調理まで一貫した体験は出来ませんでした。が、元気に楽しみながら農業を体験することができ、とても有意義なものとなったのではないのでしょうか。



# 新入職員研修



今年も新入職員研修を実施しました！畑作研修は宝田理事、酪農研修は武野理事にお世話になりました。今年はどんなことをしたのでしょうか。新入職員の3名に感想を聞きました。

## 信用部 金融課 融資係 田村 希

今回の研修で酪農は主に搾乳や哺乳の手伝い、畑作は種イモの抜き取りや野良イモの除去、除草等の作業を計4日間行いました。

普段経験することができない貴重な体験をさせていただき、農業というものを広い視野で捉えることができました。今回の農業研修を経て、自分の仕事はどう役に立つのかを想像することができ、仕事に対する責任を実感しました。また、一次産業に従事する方への有難み、そして農業の楽しさを心から実感することができました。これからは仕事を通して農業の素晴らしさを微力ながら広められたら幸いです。

今回お忙しい中、実習を受け入れてくださった方々へ心から感謝申し上げます。この経験を糧に今後も精進していきます。

## 畜産部 畜産課 畜産係 加藤 麻那

今回の研修で農協職員としてどのように組合員さんに関わっていくかを理解できました。

酪農研修では搾乳や哺乳、牧草ロールのビニールの整理などをしました。搾乳はロボットを導入しており、作業のしやすさに驚きました。牛に蹴られる心配がほぼないことに感動しました。畑作研修では、野良イモの除去と成長の遅い種イモの抜き取りをしました。

4年前のイモが生えてくることを知り、発芽力がすごいと思いました。また、病気の葉や抜かなくてはならない雑草などを教えて頂き、畑について少し詳しくなりました。大王ギシギシは忘れません。

畑作も酪農もここには書ききれないほど初めて知ることが多く、良い経験になりました。まだ学ぶべきことは多くあるので、そのことを忘れずに仕事に励みたいと思います。今回の研修でお世話になりました武野家の皆さん、宝田家の皆さん、この機会を与えてくださった方々に感謝申し上げます。

## 農産部 農産課 販売施設係 佐藤 稜輔

この度の酪農研修、畑作研修の各2日間を通し実際に目で見てかつ直接肌で感じたこと、大変貴重な経験となりました。

特に畑作研修による種イモの抜き取りでは、生育中における病気や雑草についてなど今後さらに勉強していかなくてはと実感しました。また、組合員の皆様と関わる上で大切なことや自分自身の課題を見つけることができ、職員の方々や組合員の皆様のお役に立てられる様、さらに自分磨きに力を入れて参ります。

この度の研修で農畜産業における生産現場の理解を改めて深められたこと、そして研修をお受けくださった武野理事、宝田理事、またそのご家族の皆様への感謝の気持ちを忘れずに日々精進して参りますので今後も何卒よろしくお願いいたします。

# 農作業中の「ヒヤッとしたエピソード」をご紹介します!



前号にて募集しました農作業中の「ヒヤッとしたエピソード」に対して5名の方から投稿がありました。

## ①トラックで走行中に…

トラックで走行中、圃場に入ろうとして右折のウィンカーを出して曲がろうと減速した際、後ろを走行していた自動車が追い越しを掛けてきたため危うく衝突しそうになった。

〈20代男性〉

## ②牛舎で作業中に…

牛の移動中に、急に自分に向ってきた牛を避けようとして牛舎の壁に後頭部を強打しました。

〈50代女性〉

## ③コンバインの刃に…

豆の収穫中に夫がコンバインの運転中、オーガの手前で豆が詰まったので走行しながら私が詰まりを取ろうとしたら足を退けるのが遅くて回転している刃に足を巻き込まれそうになりました。

〈20代女性〉

## ④足を踏み外して…

イモの植え付け作業中にトラクターをトラックに横付けしイモを補給しようとした時、足を踏み外して落ちた。

〈30代男性〉

## ⑤茂岩橋の上で…

大型ダンプに乗って茂岩橋上を走行中、対向車の大型ダンプとすれ違う際に接触しそうになりヒヤッとした。

〈20代男性〉

農林水産省「農作業安全の手順1,2,3」より一部抜粋したものを掲載します。

ハインリッヒの法則とは、1つの重大事故に軽微な事故が29あり、さらにその事故に対して300のヒヤリハットがある。故にヒヤリハットに対して対策をすることで、事故を防ぐ事ができる、とのことである。では農作業ではどうであろうか。(～中略)

その結果、1つの重大事故に対して、2つの軽微な事故があり、約10のヒヤリハットがある、との結果となった。つまり、ヒヤッとした瞬間に事故となり、事故をおこした途端、重大事故となるとの構図である。

今回は5名の方に自身の体験を投稿して頂きました。皆さんの中にも同じような体験をしたことがあるという方もいらっしゃると思います。今一度、自身の体験について振り返り、周囲の人と情報を共有してみたいかがでしょうか? ご協力いただきました5名の方には「とり良: から揚げ券」をプレゼント致します! ご協力ありがとうございました!

## 平成28年度からの農作業事故報告件数

※上半期(4月～9月)、下半期(10月～3月)

| 平成28年度 |     | 平成29年度 |     | 平成30年度 |     | 令和元年度 |     | 令和2年度 |
|--------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|-----|-------|
| 上半期    | 下半期 | 上半期    | 下半期 | 上半期    | 下半期 | 上半期   | 下半期 | 上半期   |
| 15件    | 10件 | 14件    | 9件  | 7件     | 3件  | 7件    | 8件  | 10件   |

今年の農作業事故の報告は4月～9月で10件の報告がありました。平成29年度から減少傾向にあったものの、5期ぶりに2桁の農作業事故が発生してしまいました。

10月11月は収穫期後半を迎え、疲労がたまりやすい時期でもあります。また、冬期にかけては凍結による交通事故はもちろん、転倒などのリスクも増えてくる時期になります。心に余裕を持った作業、体調管理をして頂き、安全な作業に努めて頂きますようお願い申し上げます。

# YouTube ホクレン アグリポートチャンネル 開設しました

ホクレン営農支援センターでは、YouTube「ホクレン アグリポートチャンネル」を開設しました。

「北海道の生産者の営農に役立つ」をキーワードに、さまざまな動画を公開しています。



こちらからご覧いただけます ▶

公開している動画(一部抜粋)



トラクター整備入門

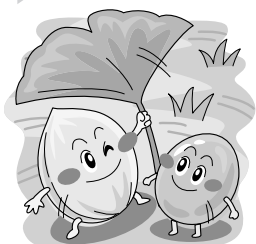


省力化ガイド



スマート農業講座

# イキイキ 職員



今月号は経済部購買課購買係の金子雄平さん（40歳）の紹介です。札幌市の出身で市内の高校を卒業後、一般企業を経験し平成30年に入組しました。昨年まで管理係にありましたが、3年目から購買係に異動。

主な業務は、資材店舗の経理、資材品の補充や配達、廃棄プラスチックの回収など内容は様々です。

趣味については、「旅行です。今まで行った中だと特に沖縄が印象に残っています。時間があれば色々な場所に出かけるのですが、現在はコロナ禍のため自粛中です…」と少し残念そうでした。

上司からは「フットワークが軽く、行動力のある職員です。様々な業務を任せていますが、どの業務も丁寧で、その仕

事ぶりから彼の真面目さが分かります。」とコメント。

今後の抱負を伺うと、「今までより多くの組合員さんと接する部署になりましたので、一日でも早く、組合員の皆様のお顔とお名前を一致させ、これからより一層お役に立てるよう業務に励む所存です。」と語ってくれました。



## 令和3年分農業者年金保険料の「前納納付」について

「前納納付」とは、令和3年分（令和3年1月～12月分）保険料を令和2年12月23日に一括して納付する制度です。

### ○ 保険料の割引

「前納納付」では「毎月納付」より保険料の割引があります。（年60円～440円割引）

### ○ 前納保険料の社会保険料控除

翌年の保険料を前納した場合の確定申告については、例えば、令和2年12月に令和3年分の前納を行った場合は、毎月納付分と保険料を合算のうえ令和2年分保険料として令和3年3月期限の確定申告を行うことができます。ここで申告しなかった場合でも、令和3年分保険料として令和4年3月期限の確定申告を行うことができます。

**令和2年11月15日まで**に「毎月納付」から「前納納付」へ変更の申し出が必要です。



## 編集後記

10月と言えばハロウィンですね！今年は青年部の食育圃場にてオバケかぼちゃを作りました。オバケかぼちゃ（アトランティックジャイアント）は数百kgにもなるととても巨大なかぼちゃです。青年部で栽培したものは40～50kg程度となりましたが、これでも大人がようやく持ち上げられるほどの大きさになりました！実際に収穫したものは、茂岩保育所の玄関にハロウィンの展示をしていますので、是非ご覧になってください。

企画振興係 G. N

朝方の冷え込みや、日の短さから冬がだんだん近づいてきているな…と感じます。

冬の寒さは厳しいですが、温かいお茶やごはんがよりおいしく感じられるのでつつい食べ過ぎに。おいしいものといえば、10月中北海道ホテルのカフェにて、豊頃町産の野菜や鮭を使ったランチ・ディナーが提供されます。切干大根を使ったパスタが大変気になるので食べに出かけたいです！ 企画振興係 A. Y

今年は、える夢キッズの農作業体験や青年部で豊頃小学校と食育授業も始めたので、子ども達と交流する機会がたくさん増えました。トマト嫌いの子がこのトマトなら食べられるとパクパク食べてくれたり、いもを掘り出したら止まらない子、トマトを一人でたくさん持ち帰ろうとする子、途中でケンカがはじまったりと色々なことがありますが、それ以上にたくさんの笑顔を見ることができとても幸せでした。これからも継続していきたいですね！

企画振興係 T. S